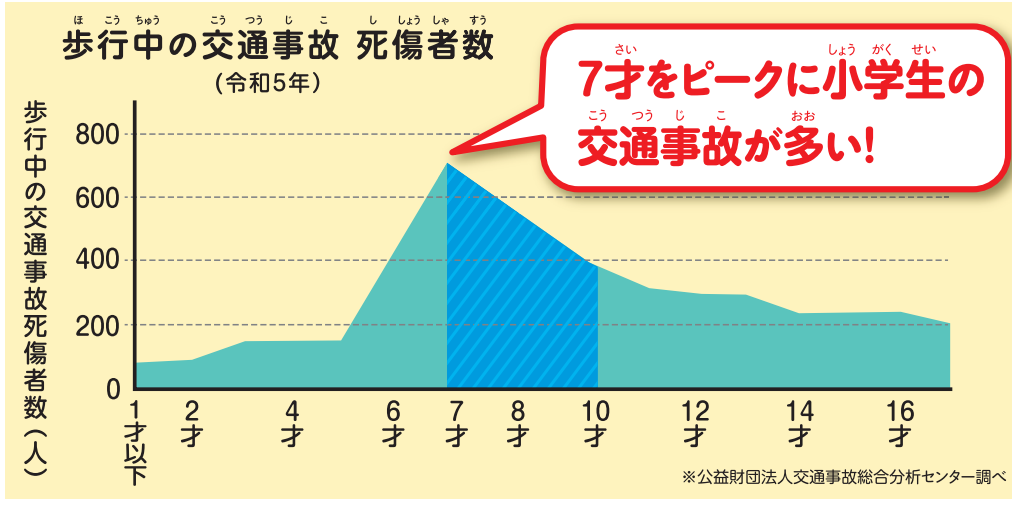




紙面 授業

交通安全を知って 安全にすごそう!



7才をピークに小学生の交通事故が多い!

道を歩いているときに交通事故にあった子どもを年齢別に見てみると、7才くらいがもっとも多くなっています。その理由は、小学生になって友だちが増え、行動範囲が広がることや、大人と比べて目線が低く、上手にまわりを見ることができないこと、注意力が十分に育っていないことが考えられます。

道を歩いているときに交通事故にあった子どもを年齢別に見てみると、7才くらいがもっとも多くなっています。その理由は、小学生になって友だちが増え、行動範囲が広がることや、大人と比べて目線が低く、上手にまわりを見ることができないこと、注意力が十分に育っていないことが考えられます。

こくみん共済coopでは「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という思いから、小学生に交通安全ルールを知ってもらおうオンライン授業を開催。全国75校の7104人が参加しました。授業で小学生のみなさんが学んだことを紹介します。

7才の子どもは交通事故にあいやすい

わかるかな? 覚えておきたい交通安全の知識 授業では、交通安全に関する問題を解きながら学びました。その一部を紹介します。

わかるかな?

子どもに見えているのはどちらの範囲?

1. 子どもの視野 (Child's field of vision)

2. 大人の視野 (Adult's field of vision)

顔を動かさずに見える範囲を「視界」といいます。大人と子どもでは視界の広さがちがいで、子どものほうが見える範囲がせまいので**正解は①**です。体や顔を動かせば、視界は広がります。道路を渡るときはしっかりと顔を動かして左右を見ましよう。

子どもは大人よりも見える範囲がせまい

わかるかな?

子どもの交通事故が多いのはどの時間?

① 朝 ② 昼 ③ 夕方

夕方は歩く人にとっても、乗り物を運転する人にとっても、暗くなりかけて見通しの悪い時間ですので、**正解は③ 夕方**です。

暗くなってから道を歩くときは、自分が気をつけるのと同時に、相手に自分のことを気づいてもらうことも大切です。乗り物を運転している人から気づいてもらいやすいのは、明るい色の服装です。さらに首からライトを下げたり、光が当たると強く反射する反射材を身につけるのも目立つ効果があります。

わかるかな?

時速40kmの車がブレーキをかけてから止まるまでに何m進む?

ブレーキ! ① 9m ② 22m ③ 400m

道路にとびだした人がいることに気づいた車が、急にブレーキをかけたとしても、その場でピタッと止まることはできず、ある程度進んでから止まります。

ブレーキをかけてから、完全に車が止まるまでの距離は、速度が上がるほど長くなっていきます。時速40kmの場合の**正解は② 22m**です。車は急には止まれないということ覚えておいてください。

わかるかな?

車の近くに立っているのに車の運転席から見えないのはどこ?

① ② ③

これらの死角にみなさんがいるときに車が動いてしまったら、重大な事故になってしまうかもしれないです。車のまわりには近づかないようにしましょう。

また駐車場で車は、道路を走るときとは全然ちがう動きをすることがあります。死角もてきやすい場所ですので、駐車場に入ろうろうしたり、遊んだりしてはいけません。

学校の先生方へ

授業に役立つワークシートや授業動画を公開中

交通安全オンライン授業の先生

ぬまっち先生 沼田 晶弘さん
東京学芸大学附属大泉小学校 教諭

クイズにチャレンジしてのしみながら、交通安全について学ぶことができる授業です。ぜひ小学校でもご活用ください。

ルールを守って安全に歩こう

道を歩く人のルールは法律で決められていて、たとえば「歩いていける人は、車のすぐ前や後ろから道路を横断してはいけない」となっています。ですから渋滞で止まっている車と車の間から道を渡ってはいけません。

読んだときはよく理解できるけれど、時間がたつと忘れてしまうものです。みなさんが学んだことを家族や友だちに説明したり、紙面を見えるところにはって見かえしたりして、交通安全ルールをしっかり覚えて守り、安全に道を歩いてくださいな。

「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」みんなで子どもたちを事故から守っていくプロジェクトです

「7才の交通安全プロジェクト」特設ページでは、よりくわしい情報や取り組みがご覧いただけます。
<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj.html>

オススメコンテンツ診断やデジタル絵本、交通安全マップなど、たのしいコンテンツがいっぱいあります

オンライン授業の動画は下の二次元コードからご覧いただけます